



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



《 例会 》 毎月第2水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2015~2016 年度主題

International President : Wichan Boonmapajorn (Thailand)  
"Mission with Faith" 「信念あるミッション」  
Asia Area President : Edward K. Wong (Singapore)  
"Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕しよう」  
東日本区理事 渡辺 孝 (甲府) 主題 : 「原点に立って、未来へステップ」  
北東部部長 中川典幸 (仙台) 主題 : 「今と原点を融合して未来へ」  
会津クラブ会長 高橋京子 主題 : 「継続は力・手をつないで前へ」

<No.252 会津通信>  
2016年4月13日発行

会 長 高橋京子  
副会長 高橋眞美  
書 記 高橋真人  
会 計 高橋真人

◇4月の聖句◇

イエスは言われた。「するままにさせておきなさい。なぜ、この人を困らせるのか。私に良いことをしてくれたのだ。」

マルコによる福音書 14章6節

4月例会プログラム

日時 ; 2016年4月13日(水)19:00~

会場 ; 若松栄町教会

司会 ; 高橋 カメン

- |                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| 1. 開 会 点 鐘                            | 高橋京子会長   |
| 2. ワイズソング                             | 一 同      |
| 3. 会長あいさつ                             | 高橋京子会長   |
| 4. 連 絡・報 告                            |          |
| 5. 聖 句 朗 読                            |          |
| 6. 食前感謝                               |          |
| 7. 会 食                                |          |
| 8. 協議・懇談                              | 「LTを語ろう」 |
| 9. Happy Birthday! Happy Anniversary! |          |
| - あかべこ                                |          |
| 10. 閉 会 点 鐘                           | 高橋京子会長   |

継続はいつまで?

青山孝男

私が継続している日本語ボランティアは今年で22年になる。会津クラブが設立して1年後のことだ。現在は会津若松市国際交流協会の会員としてのボランティアだが、この協会は今年で設立20周年を迎えることになる。1993年(平成5年)の会津大学の開学を契機に、市民、民間団体、行政が一体となり、市民レベルでの国際交流の中心的役割となるべく、1996年(平成8年)に設立された。

これまでの交流協会の活動を振り返るとともに、さらなる国際交流を促進し、多文化共生社会の実現に向け、20周年事業を実施するため、昨年7月に「設立20周年事業委員会」が設立。私は副委員長に委嘱され今月で6回の実行委員会を開催した。記念講演会の講師に野口健氏(アルピニスト)、パネルディスカッションのパネラーも決まり広報は市政だよりも協会20周年特集を載せてもらうことも決まり7月9日に向けて大詰めを迎えた。

4月2日に宮城県内4つ目のワイズメンズクラブ「石巻広域ワイズメンズクラブ」の設立総会が石巻グランドホテルを会場として開催されたとのこと。石巻広域ワイズメンズクラブは21名でスタートし

<3月例会出席状況>

在 籍 者 5名      ゲスト 0名  
出 席 者 5名      ネット 0名  
\*3月例会出席率 100%  
あ か べ こ      5,000円  
15-16年度合計      30,800円

☆ 強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う。 ☆

チャーターナイトは5月28日に同じ石巻グランドホテルで開催の報告を読み、会津クラブ設立当時のことを思い出される。あと何年会津クラブを、日本語ボランティアを、継続できるのかの答えは1年先か2年先かは自分自身が決めること。

### 3月例会報告

3月例会は、会員卓話ということで、2月15日から19日までの5日間真珠の会主催のオキナワ平和ツアーに参加した高橋カワイズの話の聞きましした。(以下、九条の会・会津若松会報よりの抜粋となります)

#### 「虚ろな目と輝く目」

参加者は16名で全く観光抜きの濃厚な日々。早朝ホテルからレンタカーで向かった先は、米軍新基地建設促進を狙い戦争法を強行採決した安倍政権と軍事国家米国の密約の実現とオール沖縄の対決の現場。抗議隊のテントでは年齢を超える人々が準備にかかっていた。



次は海上行動だ。心配だった乗船の方法は何しろ前代未聞の難題らしく、関係各位の公論の結果、牽引台車に乗っ

て陸に揚げられている船に担ぎ上げ、神輿よろしく載せられるコトとなった。然も当初予定の車椅子は止め、船中央の三人掛け長椅子に、まるで護送状態の如く左右を同行の男性に固められた。

四駆のクルマに曳かれて移動、「神輿」を載せた船は静々と無事海の上に浮かんだ。やれやれ、ならぬ堪忍するが堪忍、水面をわたる潮風に向かい身構えた。船は水を切って長く円形に張られているオイルフェンスとフロート(数珠つなぎの浮き)の浮く現場に出た。たちまち海保のゴムボートが何艘も迫ってくる。「その場所は進入禁止区域です。直ちに退去してください」と無表情な声がハンドマイクから被さってくる。気がつくやうに黄色いカヌーから孫の声がかかった。独り乗りの小さなカヌーだ。他にもカヌー隊がフロートに迫っている。そこにも海保のボートが間髪入れずに群がってくる。緊迫する状況の中で僕は彼らの輝く目を見た。ここには基地建設を許さないという目標がある。しかも駆り出されてで

はない。自分の意志で、生活を賭けての行動なのだ。ここには青春がある。

ふと海が静かになった。別の船から静かに語りかける女性の声が聞こえてきた。静まって海保の連中の退去命令も聞こえてこない。彼らは下を向いている。それはなんと高橋真美の声だ。要旨を言えば「私たちは原発事故によって自然を汚されたフクシマから来ました。その自然が生きるものの命を危うくしています。ここも豊かな海が奪われようとしています。私たちの命を養ってくれるのは豊かな海、山です。ご自身のところでお考えになってはいかがでしょうか」。あとで真美は「母親の様な気持ちで語りかけた」と言っていた。

翌日、キャンプ・シュワブゲート前へ。三日目以降に虚ろな目と輝く目の記事が出てきますので次号もお読みください。(青山)

### 会津だより

#### 什の掟

日新館入学前の六歳から九歳までの間、子供たちは地域ごとに組を作り、お互いに武士としての心構えを学びました。「什の掟」は会津藩士としての心構えを定めたもので、会津精神の基礎となりました。

- 一、年長者の言ふことに背いてはなりません
- 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 一、嘘言を言ふことはなりません
- 一、卑怯な振舞をしてはなりません
- 一、弱い者をいぢめてはなりません
- 一、戸外で物を食べてはなりません
- 一、戸外で婦人と言葉を交へてはなりません

#### ならぬことはならぬものです

さて、皆さんはこの7つの掟をどのように解釈しますか。時代背景により捉え方も違うと思います。

#### ◇ 今後の予定 ◇

##### ◆5月例会

5月11日(水)午後7時より  
「部長訪問例会」予定

##### ◆ユニークダンス例会

5月18日(水)午後7時より  
場所：アガツセ



